

家畜人工授精所開設許可申請書

年 日 日

鹿児島県知事 殿

開設者の氏名又は名称は開設許可証に記載されます。
 法人の場合は、代表者名を入れなくても構いません。
 代表者名を入れた場合は、変更があった場合に書換申請が必要です。

家畜人工授精所の開設者の住所 **鹿児島市鴨池新町10番1号**家畜人工授精所の開設者の氏名又は名称 **(株) 花子和牛人工授精所**

家畜改良増殖法第24条の規定により家畜人工授精所の開設の許可を受けたいので、
 家畜改良増殖法施行規則第32条各号に掲げる書類を添えて、下記により申請します。

記

1 家畜人工授精所の名称及び所在地

(株) 花子和牛人工授精所 鹿児島市鴨池新町10番1号

2 家畜人工授精所を管理すべき獣医師

**鹿児島 花子
(鹿児島市鴨池新町10番1号)**

2について
 人工授精所を管理する全ての獣医師及び家畜人工授精師を
 記載してください。
 欄内に収まらない場合は、別紙に記載して提出してください。

3 家畜の種類及びその業務の別

牛：1, 5**業務の別については、欄外の備考から選択してください。**

4 家畜改良増殖法第27条の種畜の種類、品種及び名前並びに他人がこれを飼養
 する場合にあってはその飼養者の住所及び氏名又は名称並びにその精液提供に
 関する契約等の概要

別紙参照

採精を行う場合は、一覧表と繫留する種畜の
 種畜証明書の写しを提出してください

5 家畜人工授精所の構造、設備及び器具の概要

構造、設備及び器具の概要は別紙参照

添付書類の人工授精所とする建物の
 平面図・配置図の他に、設備・器具の
 一覧を作成してください。

6 その他 (①と②それぞれについて丸で囲む)

① 家畜人工授精所開設許可証への旧姓併記の希望の有無 有 **無**

② 申請に係る家畜人工授精所の施設又は申請者に関する外国為替及び外国貿易法
 (昭和二十四年法律第二百二十八号) 第二十七条第一項に規定する届出の要否
 要 **不要**

(日本産業規格A4)

備考

1 3の業務の別は次の区分により番号を記入すること。

1 家畜人工授精用精液の採取及び処理の業務

2 家畜体内受精卵の採取及び処理の業務

3 家畜体外受精卵の生産に関する業務(家畜の雌のとたいから採取した卵巣から未受精卵を採取し、及び処理し、体外受精を行い、並びにこれにより生じた受精卵を処理する場合に限る。)

4 家畜体外受精卵の生産に関する業務(家畜の雌から採取した卵巣から未受精卵を採取し、及び処理し、体外受精を行い、並びにこれにより生じた受精卵を処理する場合に限る。)

5 家畜人工授精用精液若しくは家畜受精卵又はこれらの保存

2 6②の届出を要する場合にあっては、当該届出をしたときは、速やかに、その内容を確認できる書類を家畜人工授精所の開設の許可を申請した都道府県知事に提出する。なお、「要」には既に届出した場合も含めるものとし、この場合においても、その内容を確認できる書類を家畜人工授精所の開設の許可を申請した都道府県知事に提出する。